

平成25年度行政評価調書  
(平成24年度事務事業評価)

No 79

【1.事業内容】

				前年2次評価結果	現行どおり	
事務事業名		道路補修事業		担当部課名	建設部 管理課	
				評価者名	課長 石川 義晴	
総合計画	基本目標	04 生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり		予算科目	款	08 土木費
	目標	31 市内道路網の整備と広域道路・自転車道の整備をめざします			項	02 道路橋梁費
	主要施策	02 都市内幹線道路網の整備			目	01 道路橋梁維持費
個別計画	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	名称		事業	01 道路橋梁維持補修事業費	
開始年度		年度	完了(終了)年度	年度	補助事業名	
根拠法令、条例、規則、要綱等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称				
現状と課題(背景)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区補修～舗装の劣化や不等沈下、凍上等による雨水樋や縁石の破損が数多く発生し、部分的補修では対応しきれない状態となっており、面的な補修を行う必要がある。</li> <li>・簡易舗装～道管圍場整備事業で造成された郊外地道路は、簡易舗装に耐える路盤構成となっているが、防塵処理の路面となっているため、車両の通行により沿道居住者や農作物に砂塵被害が発生している。</li> <li>・防塵処理～未舗装道路の路面は耐久性に乏しく路面に穴や水溜りなどが発生し1年～3年間隔で定期的な補修を行っているが路盤が薄く凍上による路面の盛り上がり等が見られ、早期に道路改良舗装が必要である。</li> <li>・道路側溝～下水道が整備される以前に整備された道路は、U型トラフ※が設置されているが、整備から30年以上が経過し破損が著しく沿線住民の道路への出入りに支障となったり、雨水が流れないなどの状況となっているため早期に再整備が必要である。</li> </ul>					
事業目的・意図期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区補修～計画的に道路の補修を行い、地区住民の生活環境を復旧する。</li> <li>・簡易舗装～防塵処理道路にアスファルト舗装を行うことで沿道への砂塵被害を防ぐと共に、道路の耐久性を向上し経常的な維持管理費の削減を図ることが出来る。</li> <li>・防塵処理～防塵処理路線の路面を再度防塵処理を行うことで、路面の破損箇所や水溜りを解消することにより、路面の穴などによる車両のパンク事故などを未然に防止する。</li> <li>・道路側溝～U型トラフの再整備を行うことにより沿線住民の生活環境及び衛生環境の復旧を図ると共に、破損したトラフによる車両や自転車・歩行者に対する事故を未然に防止する。</li> </ul>					
事業概要、手段・方法など	対象者: 地区住民及び道路を通行する市民 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民の生活環境の復旧</li> <li>・破損した道路、トラフによる車両・歩行者・自転車事故の防止</li> <li>・砂塵の防止</li> <li>・農作物出荷の際に生ずる振動による作物への被害の防止</li> <li>・耐久性の向上による維持管理経費の削減</li> <li>・路面の穴や凹凸による振動等の防止</li> <li>・沿線住民の生活環境の向上・円滑な雨水排水による衛生環境の復旧</li> </ul> (平成24年度実績) 地区補修(オーバーレイ等)15,635m <sup>2</sup> 、簡易舗装6,670m <sup>2</sup> 、防塵処理108,531m <sup>2</sup> 、側溝補修128m					

※U型トラフ…U字型の側溝

【2. 事業費】

(単位:千円)

区分	23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	補足説明等
総事業費(A)+(B)	74,512	80,078	55,024	
(財源内訳) 事業費	国支出金			
	道支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	69,488	75,054	50,000
計(A)	69,488	75,054	50,000	
(事業費以外) 人件費	事務量(職員 臨時)	0.80 人工 日	0.80 人工 日	0.80 人工 日
	職員分	5,024	5,024	5,024
	超勤分			
	臨時職員分	0	0	0
計(B)	5,024	5,024	5,024	
(積算内訳) 事業費	(決算額)	(決算額)	(予算額)	
	69,488	75,054	50,000	

### 【3. 実施結果】

活動指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
道路補修延長	km	目標 ㉑	530.37	530.37	530.37
		実績 ㉒	27.89	31.00	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	5.26	5.85	—

成果指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
道路補修(オーバーレイ、簡易舗装、防塵処理、道路側溝等)	m	目標 ㉑		地区補修(オーバーレイ等)6,370㎡ 簡易舗装6,600㎡、防塵処理105,000㎡ 側溝補修300m	地区補修(オーバーレイ等)5,185㎡ 簡易舗装6,600㎡、防塵処理88,900㎡ 側溝補修200m
		実績 ㉒	地区補修(オーバーレイ等)4,473㎡ 簡易舗装7,341㎡、防塵処理101,630㎡ 側溝補修331m	地区補修(オーバーレイ等)15,635㎡ 簡易舗装6,670㎡、防塵処理108,531㎡ 側溝補修128m	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	—	—	—

### 【4. 項目別評価】

		項目	評価	理由	
1 次 評 価	① 目標達成度	A. 個別事業の目標を達成できた。(達成率100%)	C	舗装の劣化や不等沈下、凍上等による雨水柵や縁石の破損が数多く発生し、全てを対応しきれしていない。	
		B. 個別事業の目標を概ね達成できた。(達成率80～99%)			
		C. 個別事業の目標を期待通り達成できなかった。(達成率80%以下)			
	② 主要施策への 貢献度	A. 主要施策の達成に大きく貢献し、成果を挙げた。	B	管理している道路延長(530.37km)を維持するには思うような成果が上がっていない。	
		B. 主要施策の達成に一定の貢献をしているが、成果向上の余地がある。			
C. 主要施策達成への貢献は小さい。成果向上の余地があまりない。					
③ 行政関与の 必要性	A. 市が主体的に実施すべき。	A	市が道路管理者であるため主体的に実施すべきである。		
	B. 民間(企業、NPO等)での実施が可能。				
	C. 民間(企業、NPO等)が主体的に実施すべき。				
④ 効 率 性	A. 業務の簡素化・OA化・外部委託等により効率化が図られている。	A	工事発注については積算システム、OAを使用し業務の簡素化を図っており、補修工事は外部に発注している。		
	B. 業務の簡素化・OA化・外部委託等、効率化を図る余地がある。				
	C. 業務の簡素化・OA化・外部委託等の効率化がなされていない。				
(自己評価)	⑤ 政策形成過程 への市民参加	項目	具体的内容		
		<input type="checkbox"/> 市民委員会の開催			
		<input type="checkbox"/> 広報誌やHPの活用			
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> 説明会・フォーラム等の開催	HPにおいて道路の損傷箇所の連絡を掲載しており市民の広場等においても市民からの要望を受け道路及び道路施設の補修を実施している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要	<input checked="" type="checkbox"/> 広聴活動の実施		
	<input type="checkbox"/> その他				
前年指摘事項 (2次評価)	現行どおり				
改善検討事項					
今後の推進方針	理由・具体的改善点				
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	舗装の劣化や不等沈下、凍上等による雨水柵や縁石の破損が数多く発生し、部分的補修では対応しきれない状態となっており、面的な補修を行う必要がある。				

		コメント
2 次 評 価	今後の推進方針	
	評価者名	行政改革推進専門部会(ワーキング)
	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	補修実施にあたっての優先順位の設定について検討されたい。 恵庭市全体の市道に対する満足度を高める観点から、将来おける道路整備や道路補修のあり方について検討されたい。

平成25年度行政評価調書  
(平成24年度事務事業評価)

No 80

【1.事業内容】

		前年2次評価結果	新規事業								
事務事業名		植樹樹・植樹帯管理助成事業									
		担当部課名	建設部 管理課								
		評価者名	課長 石川 義晴								
総合計画	基本目標	04 生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり	<table border="1"> <tr> <td>款</td> <td>08 土木費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>02 道路橋梁費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>01 道路橋梁維持費</td> </tr> <tr> <td>事業</td> <td>01 道路橋梁維持補修事業費</td> </tr> </table>	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	01 道路橋梁維持費	事業	01 道路橋梁維持補修事業費
	款	08 土木費									
	項	02 道路橋梁費									
目	01 道路橋梁維持費										
事業	01 道路橋梁維持補修事業費										
目 標	33 道路沿線の美化とまちの案内標識を充実します										
主要施策	01 快適な道路環境の創出										
個別計画	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	名称									
開始年度	平成24年度	完了(終了)年度	年度								
補助事業名											
根拠法令、条例、規則、要綱等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称									
現状と課題(背景)	<p>市内道路の植樹樹・植樹帯の除草については、管理課発注委託業務(植樹樹・植樹帯除草委託業務)及び町内会活動等の市民による自主的な活動により、実施されている状況である。除草後の集積・運搬・廃棄は、管理課発注委託業務については産業廃棄物として受託者の責任において処理しているところであり、町内会活動等の自主的活動についてはボランティア袋を利用して頂き、自主運搬又は恵庭市(廃棄物対策課及び管理課)が恵庭市ゴミ処理場に搬入しているところである。</p> <p>恒常的な予算不足の為、維持管理すべき面積の全てを除草できていない。毎年除草していない植樹樹・植樹帯が存在する。平成23年からは管理課発注委託業務について、年2回の草刈と草取り(抜根)を年1回草刈りのみと変更している。</p>										
事業目的・意図期待される成果	<p>市民と恵庭市が協働して植樹樹及び植樹帯の適切な管理を行うことにより、地域の環境改善及び公共施設に対する愛護意識の高揚を図るとともに、緑豊かで潤いのある街づくりを推進するため。</p> <p>助成事業にて管理課発注委託業務内の路線についても実施できれば、現在除草出来ていない植樹樹・植樹帯について実施できることになる。</p>										
事業概要、手段・方法など	<p>対象者:地域住民で組織する自治会及びその他の団体 事業概要:団体が市内に設置されている植樹樹又は植樹帯の除草(草取り、集積、清掃、運搬及び廃棄を含む。以下同じ。)を実施する事業を対象とする。 除草は年度につき植樹樹又は植樹帯当たり2回以上行う場合に適用する。 助成金の額は、除草の対象となる植樹樹又は植樹帯の面積に1平方メートル当たり82円(運搬及び廃棄を行わない場合は、59円)を乗じて得た額(当該額が20万円を超える場合は、20万円を上限)とする。 実施方法:除草の実施に当たっては、ボランティア袋により集積し、恵庭市ゴミ処理場に運搬するものとする。</p>										

【2.事業費】

(単位:千円)

区 分	23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	補足説明 等
総事業費(A)+(B)	0	5,462	7,029	
(財源内訳) 事業費	国支出金			
	道支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源		438	2,005
	計(A)	0	438	2,005
(事業費以外) 人件費	事務量(職員 臨時)	人工 日	0.80 人工 日	0.80 人工 日
	職員分	0	5,024	5,024
	超勤分			
	臨時職員分	0	0	0
計(B)	0	5,024	5,024	
(積算内訳) 事業費	助成金	(決算額)	(決算額)	(予算額)
			438	2,005

### 【3. 実施結果】

活動指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
実施団体数	団体	目標 ㉑	—	51	51
		実績 ㉒	—	28	—
目標達成率(㉒÷㉑)			(%)	—	55

成果指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
助成事業で実施出来た植樹・帯の面積	m <sup>2</sup>	目標 ㉑	—	未設定	未設定
		実績 ㉒	—	16,617	—
目標達成率(㉒÷㉑)			(%)	—	—

### 【4. 項目別評価】

		項目	評価	理由
1次評価	① 目標達成度	A. 個別事業の目標を達成できた。(達成率100%)	C	事業実施初年度の為、目標達成は出来なかった。
		B. 個別事業の目標を概ね達成できた。(達成率80～99%)		
		C. 個別事業の目標を期待通り達成できなかった。(達成率80%以下)		
	② 主要施策への貢献度	A. 主要施策の達成に大きく貢献し、成果を挙げた。	B	毎年管理課発注委託業務(Σ=21路線)において1回のみ除草作業実施であったが、本助成金により6路線が2回目の除草作業が実施出来た。
		B. 主要施策の達成に一定の貢献をしているが、成果向上の余地がある。		
C. 主要施策達成への貢献は小さい。成果向上の余地があまりない。				
③ 行政関与の必要性	A. 市が主体的に実施すべき。	A	市が道路管理者であるため主体的に実施すべきである。	
	B. 民間(企業、NPO等)での実施が可能。			
	C. 民間(企業、NPO等)が主体的に実施すべき。			
④ 効率性	A. 業務の簡素化・OA化・外部委託等により効率化が図られている。	B	実施路線図等のデジタル化を図る必要がある。	
	B. 業務の簡素化・OA化・外部委託等、効率化を図る余地がある。			
	C. 業務の簡素化・OA化・外部委託等の効率化がなされていない。			
自己評価	⑤ 政策形成過程への市民参加	項目	具体的内容	
		<input type="checkbox"/> 市民委員会の開催		
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 広報誌やHPの活用	広報誌にて案内し、参加町内会数の増を図る。	
	<input type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> 説明会・フォーラム等の開催		
	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 広聴活動の実施		
前年指摘事項(2次評価)	新規事業			
改善検討事項				
今後の推進方針	理由・具体的改善点			
<input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	平成24年度参加28団体より、一つでも多くの団体に参加して貰う様に広報誌に掲載したり、個別に町内会に要請したりしながら参加団体を増やしていく。			

		コメント
2次評価	今後の推進方針	
	評価者名	行政改革推進専門部会(ワーキング)
<input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	市民協働の観点から、町内会のほか、さまざま団体への要請など参加団体の拡大に努められたい。	

平成25年度行政評価調査  
(平成24年度事務事業評価)

No 81

【1.事業内容】

前年2次評価結果		新規事業	
事務事業名		街区公園遊具設置事業	
担当部課名		建設部 管理課	
評価者名		課長 石川 義晴	
総合計画	基本目標	01	水と緑と花に彩られた魅力あるまちづくり
	目 標	04	水と緑に彩られた生活空間があるまちをめざします
	主要施策	02	公園緑地の整備
個別計画	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	名称	
開始年度	平成24年度	完了(終了)年度	— 年度
根拠法令、条例、規則、要綱等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	
現状と課題(背景)	<p>・平成23年度に公園施設の長寿命化計画策定のため、公園施設の点検委託業務を発注し、施設の現状を把握した。その結果から、大規模な修繕或いは更新が必要な施設数が多いことを再確認させられた。</p> <p>・平成24年度には公園施設の点検結果に基づき公園施設の長寿命化計画策定委託業務の発注を行い、長寿命化に向けての事業費の算出を行ったが、施設の更新計画を上回る使用限界遊具の発生が予期される。</p>		
事業目的・意図期待される成果	<p>・古くは昭和41年度に設置された遊具を始め、46年～27年を経過しており、劣化判定及び総合判定が共にD、或いは既に撤去された公園の基本遊具を中心に、平成24年度は調整交付金事業を充当し、9基の遊具更新を行った。</p> <p>・このままでは、使用禁止となる遊具が増加する一方であり、遊具利用の子供達の要望に応えることが出来なくなることから、遊具の更新を行うことが必要となる。</p> <p>・平成26年度からは、『都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業』の補助を受け、5ヵ年計画で15～20基/年の公園施設の更新を行っていく計画である。</p>		
事業概要、手段・方法など	<p>平成24年度は8公園を対象に9基の遊具を設置</p> <p>もいざり公園 滑り台・スプリングシーソー各1基          めぐみ公園 滑り台1基 まなび公園 ブランコ1基 やよい公園 鉄棒1基          アルプス公園 滑り台1基 どんぐり公園 滑り台1基 わこう公園 スプリングシーソー1基          なかまち公園 滑り台1基</p>		

【2. 事業費】

(単位:千円)

区 分	23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	補足説明 等	
総事業費(A)+(B)	0	9,606	0	<p>・平成24年度は防衛省調整交付金充当事業にて施行</p>	
(財源内訳)	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他		9,000		
	一般財源		292		
計(A)	0	9,292	0		
(事業費以外)	事務量(職員 臨時)	人工 日	0.05 人工 日		人工 日
	職員分	0	314		0
	超勤分				
	臨時職員分	0	0		0
	計(B)	0	314		0
(積算内訳)	(決算額)	(決算額)	(予算額)		
			9,292		

### 【3. 実施結果】

活動指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
公園施設の更新	基	目標 ㉑	—	9	—
		実績 ㉒	—	9	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	—	100	—

成果指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
老朽化した遊具の更新 (毎年20程度が更新判定)	基	目標 ㉑	—	54	74
		実績 ㉒	—	9	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	—	17	—

### 【4. 項目別評価】

		項目	評価	理由	
1次評価	① 目標達成度	A. 個別事業の目標を達成できた。(達成率100%) B. 個別事業の目標を概ね達成できた。(達成率80~99%) C. 個別事業の目標を期待通り達成できなかった。(達成率80%以下)	C	平成24年度は、更新対象とした遊具を計画通り更新しているが、既に撤去されたり使用禁止措置をとっている遊具が多数ある。	
	② 主要施策への貢献度	A. 主要施策の達成に大きく貢献し、成果を挙げた。 B. 主要施策の達成に一定の貢献をしているが、成果向上の余地がある。 C. 主要施策達成への貢献は小さい。成果向上の余地があまりない。	B	地域ごとに公園利用者の年齢構成は異なるが、遊具利用を目的に訪れる市民が安心・安全に遊べる公園の維持管理を行っていかなければならない。	
	③ 行政関与の必要性	A. 市が主体的に実施すべき。 B. 民間(企業、NPO等)での実施が可能。 C. 民間(企業、NPO等)が主体的に実施すべき。	A	指定管理者※の実施する点検報告を基に、公園施設管理者である市が主体的に更新計画を作成し、施設の更新を実施すべきである。	
	④ 効率性	A. 業務の簡素化・OA化・外部委託等により効率化が図られている。 B. 業務の簡素化・OA化・外部委託等、効率化を図る余地がある。 C. 業務の簡素化・OA化・外部委託等の効率化がなされていない。	A	公園施設の管理点検、維持・修繕については、指定管理者が毎月実施している。	
	⑤ 政策形成過程への市民参加	項目	具体的内容		
(自己評価)	<input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> 市民委員会の開催 <input type="checkbox"/> 広報誌やHPの活用 <input type="checkbox"/> 説明会・フォーラム等の開催 <input type="checkbox"/> 広聴活動の実施 <input type="checkbox"/> その他			
	前年指摘事項(2次評価)	新規事業			
	改善検討事項				
	今後の推進方針	理由・具体的改善点			
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	公園施設の更新計画は、更新対象数が更新可能数を上回る為、指定管理者の協力を得ながら更新施設の撤去作業を行い、遊具を中心に施設の減少を図らなければならない状況である。				

		今後の推進方針	コメント
2次評価	評価者名	行政改革推進専門部会(ワーキング)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	適正な維持管理に努め、更新計画に基づき進められたい。	

※指定管理者制度・・・自治体の指定を受けた民間企業やNPOなどが公共施設の管理運営を代行する制度。

平成25年度行政評価調書  
(平成24年度事務事業評価)

No 82

【1.事業内容】

				前年2次評価結果	現行どおり
事務事業名		一般道路整備事業		担当部課名	建設部土木課
				評価者名	課長 黒牧 智器
総合計画	基本目標	04 生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり		款	8 土木費
	目 標	31 市内道路網の整備と広域道路・自転車道の整備をめざします		項	2 道路橋梁費
	主要施策	02 都市内幹線道路網の整備		目	2 道路橋梁新設改良費
個別計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	名称	生活道路整備計画	事業	2 単独事業費
開始年度	平成23年度	完了(終了)年度	平成27年度	補助事業名	調整交付金
根拠法令、条例、規則、要綱等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称			
現状と課題(背景)	市街化区域内の舗装率は、平成24年度末で約92%となっているが、ユカンボシ川流域・柏木川流域においては雨水管の整備が遅れており舗装率も低い状況である。また、埋蔵文化財の発掘調査が必要な箇所があり、調査に伴う費用の増大及び一定の調査期間が必要な事により整備率が上がらない状況となっている。				
事業目的・意図期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未整備道路の改修による沿線の生活環境の向上</li> <li>・沿線住民に対する騒音・振動被害や水溜まりの解消</li> <li>・車両の走行性の向上と円滑な交通の確保</li> </ul>				
事業概要、手段・方法など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線住民に対し、改良・舗装工事を実施する。</li> </ul> 平成24年度事業実施内容 改良・舗装 市内20路線 L=2,596.89m 舗装補修 市内2路線 L=680m				

【2. 事業費】

(単位:千円)

区 分	23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	補足説明 等
総事業費(A)+(B)	384,688	383,425	377,472	
(財源内訳) 事業費	国支出金	19,795	29,698	5,400
	道支出金			
	地方債	139,900	129,200	141,900
	受益者負担			
	その他	188,200	187,400	190,000
	一般財源	21,721	22,055	25,100
	計(A)	369,616	368,353	362,400
(事業費以外) 人件費	事務量(職員 臨時)	2.40 人工 日	2.40 人工 日	2.40 人工 日
	職員分	15,072	15,072	15,072
	超勤分			
	臨時職員分	0	0	0
計(B)	15,072	15,072	15,072	
(積算内訳) 事業費	(決算額)	(決算額)	(予算額)	
	委託費	23,541	23,425	29,924
	工事費	282,118	283,092	244,944
	補償費外	5,217	2,677	27,400
	事務費	16,643	15,940	9,768
	埋文調査費	42,096	43,219	50,364

### 【3. 実施結果】

活動指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
道路整備延長	m	目標 ㉑	2,797	2,597	2,808
		実績 ㉒	2,797	2,597	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	100	100	—

成果指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
市街地の舗装整備率	%	目標 ㉑	91	92	93
		実績 ㉒	91	92	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	100	100	—

### 【4. 項目別評価】

		項目	評価	理由
1 次 評 価	① 目標達成度	A. 個別事業の目標を達成できた。(達成率100%)	A	整備計画どおりに事業が進捗している。
		B. 個別事業の目標を概ね達成できた。(達成率80～99%)		
		C. 個別事業の目標を期待通り達成できなかった。(達成率80%以下)		
	② 主要施策への 貢献度	A. 主要施策の達成に大きく貢献し、成果を挙げた。	A	整備計画どおりに整備がすすんでおり、舗装率が向上している。
		B. 主要施策の達成に一定の貢献をしているが、成果向上の余地がある。		
C. 主要施策達成への貢献は小さい。成果向上の余地があまりない。				
③ 行政関与の 必要性	A. 市が主体的に実施すべき。	A	市道の整備については、市が実施。	
	B. 民間(企業、NPO等)での実施が可能。			
	C. 民間(企業、NPO等)が主体的に実施すべき。			
④ 効 率 性	A. 業務の簡素化・OA化・外部委託等により効率化が図られている。	A	設計業務の外部委託により、効率化が図られている。	
	B. 業務の簡素化・OA化・外部委託等、効率化を図る余地がある。			
	C. 業務の簡素化・OA化・外部委託等の効率化がなされていない。			
(自己評価)	⑤ 政策形成過程 への市民参加	項目	具体的内容	
		<input type="checkbox"/> 市民委員会の開催		
	<input type="checkbox"/> 広報誌やHPの活用			
	<input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> 説明会・フォーラム等の開催		
	<input type="checkbox"/> 広聴活動の実施			
	<input type="checkbox"/> その他			
前年指摘事項 (2次評価)	現行どおり			
改善検討事項				
今後の推進方針	理由・具体的改善点			
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	市街化区域内における整備の遅れている地区を重点的・継続的に改良・舗装する。			

		今後の推進方針	コメント
2 次 評 価	評価者名	行政改革推進専門部会(ワーキング)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	恵庭市全体の市道に対する満足度を高める観点から、将来における道路整備や道路補修のあり方について検討されたい。	

平成25年度行政評価調査  
(平成24年度事務事業評価)

No 83

【1.事業内容】

		前年2次評価結果	改善・見直し
事務事業名		恵み野駅通整備事業	
		担当部課名	建設部土木課
		評価者名	課長 黒牧 智器
総合計画	基本目標	04 生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり	款 8 土木費
	目標	27 職・住・遊・学などの都市機能が充実したまちづくりを進めます	項 4 都市計画費
	主要施策	01 コンパクトなまちづくり	目 6 街路事業費
個別計画	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	名称	事業 1 恵み野駅通整備事業費
開始年度	平成23年度	完了(終了)年度	平成25年度
補助事業名	社会資本整備総合交付金		
根拠法令、条例、規則、要綱等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	
現状と課題(背景)	<p>恵庭市は、昭和23年に都市計画区域を設定して以降、計画的に市街化を進めてきており、最近では平成23年に市街化区域の見直しを行っています。恵庭、恵み野、島松のJR線各駅を中心に市街地が形成されており、自然環境や農村地域との調和と居住環境の向上を図りながら、地域の個性・特徴を生かした魅力的な市街地形成を進めてきました。また、道央圏の中核都市として、人口、産業、業務などの諸機能を受け入れつつ、職・住・遊・学などの都市機能の充実を図ってきました。今後も広域的視点から求められる各種機能を高めながら、市街地の計画的な整備を進めていく必要があります。</p>		
事業目的・意図期待される成果	<p>本計画区域は、JR恵み野駅や国道36号、道道江別恵庭線など交通の利便性に恵まれた、極めて将来性、可能性の高い地域であり、駅を中心に利便施設を集約したコンパクトなまちづくりをめざすとともに、地域経済への波及効果はもちろん、地域の活性化に期待がもてることから、市としても事業の推進を図ります。</p>		
事業概要、手段・方法など	<p>地域権利者及び施設利用者のために、公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図ります。市は都市計画道路、駅前広場、街区公園などの基幹施設の整備を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵み野駅西口駅前広場整備工事</li> <li>・恵み野駅西口駅前広場照明設置工事</li> <li>・恵み野駅西口街区公園整備工事</li> </ul> <p>平成24年度実施事業 恵み野駅通整備工事、恵み野駅西口街区公園実施設計委託業務</p>		

【2. 事業費】

(単位:千円)

区分	23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	補足説明等
総事業費(A)+(B)	7,939	72,923	111,780	
(財源内訳)	国支出金		38,538	53,900
	道支出金			
	地方債	4,300	26,000	48,700
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	499	2,105	2,900
計(A)	4,799	66,643	105,500	
(事業費以外)	事務量(職員 臨時)	0.50 人工 日	1.00 人工 日	1.00 人工 日
	職員分	3,140	6,280	6,280
	超勤分			
	臨時職員分	0	0	0
計(B)	3,140	6,280	6,280	
(積算内訳)	委託費	(決算額) 4,799	(決算額) 3,454	(予算額)
	工事費		62,189	104,000
	事務費等		1,000	1,500

### 【3. 実施結果】

活動指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
恵み野駅通整備率	%	目標 ㉑	15	85	100
		実績 ㉒	15	85	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	100	100	—

成果指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
全体事業進捗率	%	目標 ㉑	10	60	100
		実績 ㉒	10	60	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	100	100	—

### 【4. 項目別評価】

		項目	評価	理由
1次評価	① 目標達成度	A. 個別事業の目標を達成できた。(達成率100%)	A	平成25年度完成に向け、予定の事業を実施しました。
		B. 個別事業の目標を概ね達成できた。(達成率80～99%)		
		C. 個別事業の目標を期待通り達成できなかった。(達成率80%以下)		
	② 主要施策への貢献度	A. 主要施策の達成に大きく貢献し、成果を挙げた。	A	恵み野駅西口を中心としたコンパクトなまちづくりを目指す施策に貢献します。
		B. 主要施策の達成に一定の貢献をしているが、成果向上の余地がある。		
C. 主要施策達成への貢献は小さい。成果向上の余地があまりない。				
③ 行政関与の必要性	A. 市が主体的に実施すべき。	A	恵み野駅西口地区の開発については、土地区画整理組合と役割分担を明確にしており、本事業は市が担うこととしています。	
	B. 民間(企業、NPO等)での実施が可能。			
	C. 民間(企業、NPO等)が主体的に実施すべき。			
④ 効率性	A. 業務の簡素化・OA化・外部委託等により効率化が図られている。	A	設計業務の外部委託により、効率化が図られています。	
	B. 業務の簡素化・OA化・外部委託等、効率化を図る余地がある。			
	C. 業務の簡素化・OA化・外部委託等の効率化がなされていない。			
自己評価	⑤ 政策形成過程への市民参加	項目	具体的内容	
		<input type="checkbox"/> 市民委員会の開催		
	<input type="checkbox"/> 広報誌やHPの活用			
	<input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> 説明会・フォーラム等の開催		
	<input type="checkbox"/> 広聴活動の実施			
	<input type="checkbox"/> その他			
前年指摘事項(2次評価)	改善・見直し	都市計画マスタープラン※においても必要な事業。土地区画整理組合との連携を十分に図り検討していく。		
改善検討事項		恵み野西口土地区画整理組合は事務局体制が整い、計画通り事業が遂行されるよう市としても技術的支援を行っている。今年度においても都市機能の充実とコンパクトなまちづくりが達成できるよう土地区画整理組合と連携を図る。		
今後の推進方針		理由・具体的改善点		
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止		恵み野西口土地区画整理組合の事業が、計画通り執行出来るように、引き続き市としても技術的支援を行います。また、連絡や調整についても事務局の体制が整った事から、よりスムーズとなっています。		
2次評価	今後の推進方針	コメント		
	評価者名	行政改革推進専門部会(ワーキング)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	担当課の評価どおり		

※恵庭市都市計画マスタープラン…市全体及び地域別での土地利用や都市計画の方針を示し、恵庭市における都市づくりの総合的な指針を定めた計画。期間：平成12～32年

平成25年度行政評価調書  
(平成24年度事務事業評価)

No 84

【1.事業内容】

				前年2次評価結果	改善・見直し	
事務事業名		木造住宅耐震診断・耐震改修助成事業		担当部課名	建設部建築課	
				評価者名	建設部次長 浅香 正人	
総合計画	基本目標	04 生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり		予算科目	款	8 土木費
	目標	39 市民の防災意識を高めます			項	1 土木管理費
	主要施策	01 防災対策の推進			目	1 土木管理費
個別計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	名称	恵庭市耐震改修促進計画		事業	2 一般事務費
開始年度	平成22年度	完了(終了)年度	平成27年度		補助事業名	社会資本整備総合交付金事業 北海道既存住宅耐震改修事業
根拠法令、条例、規則、要綱等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の耐震改修の促進に関する法律</li> <li>・恵庭市木造住宅耐震診断補助金交付要綱</li> <li>・恵庭市木造住宅耐震改修補助金交付要綱</li> </ul>			
現状と課題(背景)	<p>「恵庭市耐震改修促進計画※」に基づく住宅の耐震化率の目標は、平成27年度までに90%としており、目標達成のため、耐震化率の低い木造戸建住宅の耐震化を推進する必要がある。このため、耐震化率の向上を図ることを目的に平成22年度から耐震診断・耐震改修に要する費用の助成制度を創出し、広く市民に周知して助成制度を活用した耐震化の促進を図ってきたが、さらなる促進を図る必要がある。</p>					
事業目的・意図期待される成果	住宅の耐震化を図り、地震災害の被害から市民の生命及び財産を守ることを目的とする。					
事業概要、手段・方法など	<p>市民の生命及び財産を守るため、住宅の耐震化が促進されるよう耐震診断・耐震改修の助成制度について、ホームページや広報誌に掲載するとともに、新たに作成したパンフレットを活用し周知を図るほか、建築士会や関係事業者への協力をお願いし、更なる普及啓発に努める。また、平成25年度から耐震診断費の全額助成(5万円)を行い、一層の耐震化促進に努める。</p>					

※恵庭市耐震改修促進計画…地震による建築物の倒壊等の被害から市民の生命及び財産を保護するために建築物の耐震診断・改修を進める計画。期間:平成22~27年

【2.事業費】

(単位:千円)

区分	23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	補足説明等
総事業費(A)+(B)	1,114	5,116	11,756	
(財源内訳) 事業費	国支出金	130	1,330	3,498
	道支出金	100	1,200	3,000
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	130	1,330	4,002
	計(A)	360	3,860	10,500
(事業費以外) 人件費	事務量(職員 臨時)	0.12 人工 日	0.20 人工 日	0.20 人工 日
	職員分	754	1,256	1,256
	超勤分			
	臨時職員分	0	0	0
	計(B)	754	1,256	1,256
(積算内訳) 事業費	(決算額)	(決算額)	(予算額)	
	診断費3件 60	診断費13件 260	診断費30件 1,500	
	改修費1件 300	改修費12件 3,600	改修費30件 9,000	

### 【3. 実施結果】

活動指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
耐震改修助成件数	件	目標 ㉑	10	15	30
		実績 ㉒	1	12	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	10	80	—

  

成果指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
平成27年度までに住宅の耐震化率を90%とする	%	目標 ㉑	86.2	87.1	88.0
		実績(推計値) ㉒	85.6	86.2	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	99.3	99.0	—

### 【4. 項目別評価】

		項目	評価	理由
1 次 評 価	① 目標達成度	A. 個別事業の目標を達成できた。(達成率100%)	B	平成23年度実績の診断3件、改修1件に対し、平成24年度実績は診断13件、改修12件と大幅な増加となっているが、目標の90%達成には、平成27年度までに木造戸建住宅の耐震改修を456棟行う必要がある。
		B. 個別事業の目標を概ね達成できた。(達成率80～99%)		
		C. 個別事業の目標を期待通り達成できなかった。(達成率80%以下)		
	② 主要施策への貢献度	A. 主要施策の達成に大きく貢献し、成果を挙げた。	B	建築士会の会員へ、リフォーム時に合わせて積極的に耐震診断・耐震改修の助成制度を活用し、耐震化を図ってもらうようお願いしており、その成果から件数が増加している。
		B. 主要施策の達成に一定の貢献をしているが、成果向上の余地がある。		
C. 主要施策達成への貢献は小さい。成果向上の余地があまりない。				
③ 行政関与の必要性	A. 市が主体的に実施すべき。	A	市が主体的に実施する必要があると考えるが、助成制度の周知や耐震化の必要性について、今まで以上に民間との連携を強める必要がある。	
	B. 民間(企業、NPO等)での実施が可能。			
	C. 民間(企業、NPO等)が主体的に実施すべき。			
④ 効率性	A. 業務の簡素化・OA化・外部委託等により効率化が図られている。	B	建築士会の会員が申請業務を所有者に代行行うことで、窓口業務の簡素化に繋がっている。	
	B. 業務の簡素化・OA化・外部委託等、効率化を図る余地がある。			
	C. 業務の簡素化・OA化・外部委託等の効率化がなされていない。			
(自己評価)	⑤ 政策形成過程への市民参加	項目	具体的内容	
		<input type="checkbox"/> 市民委員会の開催		
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 広報誌やHPの活用	広報5月号掲載、HP常時UP	
	<input type="checkbox"/> 不要	<input checked="" type="checkbox"/> 説明会・フォーラム等の開催	住宅新築&耐震・リフォームセミナー	
		<input checked="" type="checkbox"/> 広聴活動の実施	パブリックコメント実施	
	<input type="checkbox"/> その他			
	前年指摘事項(2次評価)	改善・見直し	引き続き広報誌やHPを使った効果的なPRを期待する。	
	改善検討事項	新たに、市民にわかりやすく助成制度等を周知するため、パンフレットを作成したほか、平成25年度からは診断費の全額助成を行い、一層の耐震化促進に努めている。		
	今後の推進方針	理由・具体的改善点		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	当面は現行どおりの対応により、耐震化の促進を図り、その状況により、さらなる促進に向けた対応の必要性が生じた際には、具体的な改善点等について検討を行う。		

		今後の推進方針	コメント
2 次 評 価	評価者名	行政改革推進専門部会(ワーキング)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	助成制度の周知の改善により、助成件数も増加している。引き続き、きめ細かなPRに努められたい。	

平成25年度行政評価調書  
(平成24年度事務事業評価)

No 85

【1.事業内容】

				前年2次評価結果	改善・見直し	
事務事業名		恵庭駅西口周辺再整備事業		担当部課名	建設部都市整備室 都市整備課	
				評価者名	課長 高橋 光男	
総合計画	基本目標	04 生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり		予算科目	款	1 土地区画整理事業費
	目標	28 都市の中心としての恵庭駅周辺整備を進めます			項	1 事業費
	主要施策	01 恵庭駅西口周辺再整備事業の推進			目	2 恵庭駅西口区画整理事業費
個別計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	名称	恵庭駅西口土地区画整理事業 事業計画 (H24)	事業	1 恵庭駅西口区画整理事業費	
開始年度	平成23年度	完了(終了)年度	平成32年度	補助事業名	社会資本整備総合交付金	
根拠法令、条例、規則、要綱等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	土地区画整理法			
現状と課題(背景)	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場の狭隘さや駅への交通利便性に欠け、防災機能や歩行者の安全性も確保されていません。</li> <li>空き地や空き店舗などの低利用地が散在し、老朽化した建物も多く見受けられます。</li> <li>都市の中心部でありながら商業・業務機能が集積されていない状況です。</li> </ul>					
事業目的・意図期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅を中心としたコンパクトなまちづくりを進めるとともに、安全安心に暮らすことのできる利便性を生かした都市機能の集積と都市基盤の整備を推進します。</li> </ul>					
事業概要、手段・方法など	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体施行により、駅前広場や都市計画道路などの都市基盤を支える公共施設の整備改善を行います。</li> <li>土地区画整理事業 A=7.6ha 平成23年度 支障物件調査1式・換地計画作成1式 平成24年度 移転補償 倉庫2棟・店舗2棟</li> </ul>					

【2. 事業費】

(単位:千円)

区分	23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	補足説明等	
総事業費(A)+(B)	23,248	254,892	658,540	25年度予算には24年度補正予算350,000千円を含んでいる。	
(財源内訳) 事業費	国支出金		291,000		
	道支出金				
	地方債		90,200		305,400
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	20,108	14,292		43,300
	計(A)	20,108	242,332		639,700
(事業費以外) 人件費	事務量(職員 臨時)	0.50 人工 日	2.00 人工 日		3.00 人工 日
	職員分	3,140	12,560		18,840
	超勤分				
	臨時職員分	0	0		0
計(B)	3,140	12,560	18,840		
(積算内訳) 事業費	(決算額)	(決算額)	(予算額)		
	委託料	20,108	37,254		34,602
	工事請負費			83,000	
	公有財産購入費			38,331	
	補償費		204,229	474,000	
	事務費他		849	9,767	

### 【3. 実施結果】

活動指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
・支障物件調査(H23～) ・移転補償(H24～)	式件	目標 ㉑	1	4	16
		実績 ㉒	1	4	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	100	100	—

成果指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
事業進捗率(事業費換算)	%	目標 ㉑	—	25	33
		実績 ㉒	—	26	—
目標達成率(㉒÷㉑)		(%)	—	104	—

### 【4. 項目別評価】

		項目	評価	理由	
1 次 評 価	① 目標達成度	A. 個別事業の目標を達成できた。(達成率100%)	A	補償計画及び換地計画に基づき、H24年度は大型物件である倉庫及び店舗各2棟の移転補償を行い、所期の目標を達成することができた。	
		B. 個別事業の目標を概ね達成できた。(達成率80～99%)			
		C. 個別事業の目標を期待通り達成できなかった。(達成率80%以下)			
	② 主要施策への貢献度	A. 主要施策の達成に大きく貢献し、成果を挙げた。	B	支障物件調査・移転補償を計画どおり進めることができた。今後も国の補正事業制度を活用し、更なる成果向上に努めたい。	
		B. 主要施策の達成に一定の貢献をしているが、成果向上の余地がある。			
C. 主要施策達成への貢献は小さい。成果向上の余地があまりない。					
③ 行政関与の必要性	A. 市が主体的に実施すべき。	A	既存市街地の再整備であり、居住者にとって既に相応の負担をしていること、事業費に充てるための保留地を設定することが出来ない「減価地区」であることから市が実施すべき。		
	B. 民間(企業、NPO等)での実施が可能。				
	C. 民間(企業、NPO等)が主体的に実施すべき。				
④ 効率性	A. 業務の簡素化・OA化・外部委託等により効率化が図られている。	A	支障物件調査や道路実施設計は外部委託し業務の簡素化を図った。		
	B. 業務の簡素化・OA化・外部委託等、効率化を図る余地がある。				
	C. 業務の簡素化・OA化・外部委託等の効率化がなされていない。				
(自己評価)	⑤ 政策形成過程への市民参加	項目	具体的内容		
		■ 市民委員会の開催	まちづくり市民会議において意見を聴き基本構想に反映している。		
		■ 広報誌やHPの活用	市民向けパンフレット(区画整理ニュース)をHPに掲載している。		
		■ 必要 □ 不要	■ 説明会・フォーラム等の開催	権利者説明会を実施し道路線形などに意見反映している。	
		□ 広聴活動の実施			
	■ その他	市民向けパンフレット(区画整理ニュース)を発行している。また、事業パンフレットをH25年内に策定する予定である。			
前年指摘事項(2次評価)	改善・見直し	補償計画・換地計画に基づき、その都度進捗状況を把握しながら期間短縮の努力を望む。			
改善検討事項	予算の平準化を図るとともに、国の動向を注視しつつ整備を推進し、期間短縮に努めたい。				
今後の推進方針	理由・具体的改善点				
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	今後とも、国の補助事業制度の推移や動向を注視しつつ整備を推進し、事業期間短縮に努めたい。				

		今後の推進方針	コメント
2 次 評 価	評価者名	行政改革推進専門部会(ワーキング)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	引き続き事業の推進に努められたい。	

平成25年度行政評価調査  
(平成24年度事務事業評価)

No 86

【1.事業内容】

		前年2次評価結果		改善・見直し		
事務事業名		市民交流の森緑地整備事業		担当部課名	建設部都市整備室 都市整備課	
				評価者名	主幹 岡田 貴裕	
総合計画	基本目標	04 生活環境が整い安全安心でゆとりあるまちづくり		款	8 土木費	
	目標	27 職・住・遊・学などの都市機能が充実したまちづくりを進めます		項	4 都市計画費	
	主要施策	01 コンパクトなまちづくり		目	3 公園費	
個別計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	名称	恵庭市緑の基本計画(平成25年度版)		事業	6 市民交流の森緑地整備事業
開始年度	平成23年度	完了(終了)年度	平成25年度		補助事業名	社会資本整備総合交付金
根拠法令、条例、規則、要綱等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	都市公園法			
現状と課題(背景)	<p>「市民交流の森」は、恵み野西口区画整理事業区域に隣接する都市緑地(2.8ha)です。この区域は、柏木川に隣接する良好な樹林地であり、「恵庭市緑の基本計画※(平成25年度版)」においては、拠点地区緑地として位置づけられています。 平成23年3月に都市緑地として都市計画決定した後、当該年度に恵庭市が用地取得しました。今後は、都市緑地としてふさわしい、自然環境の保全・維持管理が課題です。</p>					
事業目的・意図期待される成果	<p>柏木川に隣接する良好な樹林地である本区域を、都市公園法に基づく都市緑地「市民交流の森緑地」として整備することが、本事業の目的です。 都市緑地として樹林地を保全することで、市街地及びその周辺における貴重な生物等の生息地となり、緑豊かな都市環境の形成を図ります。</p>					
事業概要、手段・方法など	<p>平成23年3月に都市緑地として都市計画決定した後、当該年度に「市民交流の森緑地」として用地を取得しました。(27,343㎡) 平成24年度は区域内の樹林地の保全方法について検討し、当面散策路などは設けず、現況のまま都市緑地として保全を図ることとしました。</p>					

※恵庭市緑の基本計画…市内の緑の確保や公園整備について、長期的視点に立って将来確保すべき緑地の目標量や配置計画を定めた計画。平成14～平成32年

【2.事業費】

(単位:千円)

区分	23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	補足説明等
総事業費(A)+(B)	22,684	0	0	
(財源内訳) 事業費	国支出金	6,315		
	道支出金			
	地方債	11,800		
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	1,429		
	計(A)	19,544	0	0
(事業費以外) 人件費	事務量(職員 臨時)	0.50 人工 日	0.00 人工 日	人工 日
	職員分	3,140	0	0
	超勤分			
	臨時職員分	0	0	0
計(B)	3,140	0	0	
(積算内訳) 事業費	(決算額)	(決算額)	(予算額)	
	工事請負費			
	公有財産購入費	17,395		
	補償費	870		
	事務費他	1,279		

### 【3. 実施結果】

活動指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
都市緑地の確保	㎡	目標 ㉑	27,343	—	—
		実績 ㉒	27,343	—	—
目標達成率(㉒÷㉑)			100	—	—

成果指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
既存樹林地の保全率	%	目標 ㉑	100	100	
		実績 ㉒	100	100	—
目標達成率(㉒÷㉑)			100	100	—

### 【4. 項目別評価】

		項目	評価	理由
1 次 評 価	① 目標達成度	A. 個別事業の目標を達成できた。(達成率100%)	A	23年度は用地取得及び物件補償が業務目的であり、予定通り達成できました。
		B. 個別事業の目標を概ね達成できた。(達成率80～99%)		
		C. 個別事業の目標を期待通り達成できなかった。(達成率80%以下)		
	② 主要施策への 貢献度	A. 主要施策の達成に大きく貢献し、成果を挙げた。	A	都市緑地として、市が主体的に保全・維持管理を行います。
		B. 主要施策の達成に一定の貢献をしているが、成果向上の余地がある。		
C. 主要施策達成への貢献は小さい。成果向上の余地があまりない。				
③ 行政関与の 必要性	A. 市が主体的に実施すべき。	A	同上	
	B. 民間(企業、NPO等)での実施が可能。			
	C. 民間(企業、NPO等)が主体的に実施すべき。			
④ 効 率 性	A. 業務の簡素化・OA化・外部委託等により効率化が図られている。	B	用地取得段階において、物件調査を外部委託しました	
	B. 業務の簡素化・OA化・外部委託等、効率化を図る余地がある。			
	C. 業務の簡素化・OA化・外部委託等の効率化がなされていない。			
(自己評価)	⑤ 政策形成過程 への市民参加	項目	具体的内容	
		<input type="checkbox"/> 市民委員会の開催		
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要	<input checked="" type="checkbox"/> 広報誌やHPの活用	恵み野西口地区土地区画整理事業の一環として、計画概要について情報提供を行っています。	
	<input type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> 説明会・フォーラム等の開催		
	<input type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> 広聴活動の実施		
		<input type="checkbox"/> その他		
	前年指摘事項 (2次評価)	改善・見直し	(緑地内に散策路整備を行うのであれば)、散策路の設計について、案の段階から市民に公表することで、認知度の向上が図られる。	
	改善検討事項	区域以内の自然環境の維持・保全の視点から、当面散策路整備は行わないものとしました。		
	今後の推進方針	理由・具体的改善点		
	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	都市緑地「市民交流の森緑地」として用地取得したことから、事業は完了。 今後は都市緑地として適切な維持管理を継続的に行う。		

2 次 評 価		今後の推進方針	コメント
	評価者名	行政改革推進専門部会(ワーキング)	
	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止	「市民交流の森」としての適切な維持管理を継続的に行われたい。	

平成25年度行政評価調書  
(平成24年度事務事業評価)

No 87

【1.事業内容】

				前年2次評価結果	改善・見直し	
事務事業名		ルルマップ自然公園ふれらんど整備事業		担当部課名	建設部都市整備室 都市整備課	
				評価者名	主幹 岡田 貴裕	
総合計画	基本目標	05 地域資源を生かした活気あるまちづくり		予算科目	款	8 土木費
	目標	51 都市と農村の交流により地域農業の活性化を推進します			項	4 都市計画費
	主要施策	01 都市・農村交流の推進			目	3 公園費
個別計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	名称	西島松北地区振興基本計画・事業計画	事業	2 ルルマップ自然公園ふれらんど整備事業費	
開始年度	平成21年度	完了(終了)年度	平成24年度	補助事業名	防衛省統合事業	
根拠法令、条例、規則、要綱等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	ルルマップ自然公園ふれらんど条例			
現状と課題(背景)	<p>○恵まれた立地条件と交通アクセスを背景に、農産物直売所、市民農園や福祉農園、農業体験や酪農体験など都市農村交流事業が市内各所で行われています。</p> <p>○当地域に立地した墓地、火葬場のマイナスイメージから脱却する必要があります。</p> <p>○優れた地域景観や緑地を保全・維持、農地保全や農業の経営基盤確立のために農地集約等の対策を講じる必要があります。</p> <p>○「都市・農村交流ゾーン」の実現に向け都市地域との調和や市民目線の交流施設整備に配慮する必要があります。</p>					
事業目的・意図期待される成果	○地域農業の保全・発展や景観・観光など多面的な機能の発揮及び地域周辺の環境整備を目的に実施しております。					
事業概要、手段・方法など	<p>恵庭市民及び施設利用者を対象に良好な地域景観や樹林地を活かした都市農村の交流拠点及び健康増進型レクリエーションの場として施設利用者の誘導を図ります。交流公園整備 A=32.4ha(パークゴルフ場、多目的広場、市民農園、アートビレッジ※、散策路)</p> <p>平成24年5月に本公園はオープンし、本整備事業は終了しました。 オープン以降は、指定管理者※による施設管理を行います(ルルマップ自然公園ふれらんど管理事業)</p>					

※アートビレッジ…島松軟石を使ったモニュメントや倉庫が並ぶ広場

※指定管理者制度…自治体の指定を受けた民間企業やNPOなどが公共施設の管理運営を代行する制度。

【2.事業費】

(単位:千円)

区分	23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	補足説明等
総事業費(A)+(B)	367,628	113,629	0	
(財源内訳) 事業費	国支出金	180,533	45,445	
	道支出金			
	地方債	131,500	32,700	
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	49,315	22,924	
	計(A)	361,348	101,069	0
(事業費以外) 人件費	事務量(職員 臨時)	1.00 人工 日	2.00 人工 日	人工 日
	職員分	6,280	12,560	0
	超勤分			
	臨時職員分	0	0	0
計(B)	6,280	12,560	0	
(積算内訳) 事業費	(決算額)	(決算額)	(予算額)	
	工事請負費	335,269	94,033	
	備品購入費	8,850	1,208	
	事務費他	17,229	5,828	

### 【3. 実施結果】

活動指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
事業進捗率 (事業費換算)	%	目標 ①	94	100	—
		実績 ②	94	100	—
目標達成率(②÷①)		(%)	100	100	—

成果指標	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度(見込・目標値)
施設来場者数	人	目標 ①	—	55,100	—
		実績 ②	(整備中)	48,512	—
目標達成率(②÷①)		(%)	—	88	—

### 【4. 項目別評価】

		項目	評価	理由
1 次 評 価	① 目標達成度	A. 個別事業の目標を達成できた。(達成率100%)	B	H24年度に事業は全て完了しましたが、オープン時期の遅れなどにより、来場者数は目標の9割に留まりました。
		B. 個別事業の目標を概ね達成できた。(達成率80~99%)		
		C. 個別事業の目標を期待通り達成できなかった。(達成率80%以下)		
	② 主要施策への 貢献度	A. 主要施策の達成に大きく貢献し、成果を挙げた。	A	市民農園や多目的広場の整備を通じ、「都市・農村交流の推進」に大きな貢献を果たすことができました。
		B. 主要施策の達成に一定の貢献をしているが、成果向上の余地がある。		
C. 主要施策達成への貢献は小さい。成果向上の余地があまりない。				
③ 行政関与の 必要性	A. 市が主体的に実施すべき。	B	施設整備は市が行い、管理運営については、民間事業者の専門性を活かし、集客力向上を図ります。	
	B. 民間(企業、NPO等)での実施が可能。			
	C. 民間(企業、NPO等)が主体的に実施すべき。			
④ 効 率 性	A. 業務の簡素化・OA化・外部委託等により効率化が図られている。	A	西島松北地区振興策策定協議会の意見を踏まえ整備を行いました。今後は、利用者ニーズに適切に対応した施設管理を行っていきます。	
	B. 業務の簡素化・OA化・外部委託等、効率化を図る余地がある。			
	C. 業務の簡素化・OA化・外部委託等の効率化がなされていない。			
(自己評価)	⑤ 政策形成過程 への市民参加	項目	具体的内容	
		■ 市民委員会の開催	一般公募による市民からなる「協議会」が策定した振興策を基本に事業を推進しました。	
	■ 必要	■ 広報誌やHPの活用	広報誌・HPを活用し、PRを行っています。	
	□ 不要	□ 説明会・フォーラム等の開催		
		□ 広聴活動の実施		
		□ その他		
前年指摘事項 (2次評価)		改善・見直し	利用者が増加した場合の駐車場の狭隘化が予測される。利用者からのニーズを把握した場合は、指定管理者に改善を求めていく。	
改善検討事項		苦情及び緊急性の高い案件は、即時指定管理者と協議をしています。また市が定例会などに参加し、情報共有、課題解決へのアドバイスなどを適宜行いました。		
今後の推進方針		理由・具体的改善点		
<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止		平成24年5月に本公園はオープンし、本整備事業は終了しました。 平成25年度以降は、指定管理者による施設管理を行います(ルルマップ自然公園ふれんど管理事業)。今後も施設利用者のニーズに適切に対応した施設管理を、指定管理者と連携を図りながら行います。		

2 次 評 価		今後の推進方針	コメント
		評価者名	行政改革推進専門部会(ワーキング)
<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 完了・終了 <input type="checkbox"/> 中断・廃止		駐車場の整備など利用者のニーズなどに適切に対応している。 今後も指定管理者と連携を図って適正な管理を進められたい。	